

精華町教育委員会会議録

平成 2 7 年（第 7 回）

- 1 開 会 平成 2 7 年 6 月 2 4 日（水） 午前 1 0 時 0 0 分
閉 会 平成 2 7 年 6 月 2 4 日（水） 午前 1 2 時 0 0 分

- 2 出席委員 伊藤委員長 中谷委員 蓑毛委員 細川委員
太田教育長 （欠席委員なし）

- 3 出席事務局職員

岩橋教育部長 竹島学校教育課長
仲村生涯学習課長 北澤総括指導主事
山崎学校教育課係長

- 4 傍 聴 者 1 名

- 5 議事の概要

（1）開会

委員長から第 7 回教育委員会の開会を宣言。

（2）前回会議録について

教育部長から平成 2 7 年第 6 回教育委員会の会議録について説明。

【意見等】

- ・特になし。

【採 決】

- ・全員承認。

（3）教育長報告事項

教育委員会制度改革に関連する法施行に伴い、第 1 回総合教育会議を 6 月 3 0 日午前 1 0 時から開催することが決定されたのでよりしくお願いしたい。

また、夏季研修計画について精華町教育委員会が主催ないし共催をしている研修が 4 つあるので報告させていただく。

1 つ目は、相楽地方教育委員会連絡協議会の教育委員の合同研修会で

ある。7月9日15時45分から木津川市中央図書館で行われる。大学の入試制度改革が義務教育に与える影響など最近の教育改革の動向について京都府教育委員会の対応を、京都府教育委員会総括指導主事、井上弘一様を講師に招いて研修する。

2つ目は、精華町教育委員と校長の合同研修会である。7月28日16時から図書館の集会室で行う。いじめ問題と危機管理をテーマに京都教育大学教授で大津市の教育委員長、桶谷守先生に来ていただく。教育大での教鞭や大津市での経験に基づいたお話を聞かせていただき、勉強したいと思っている。

3つ目は、精華町の全教職員を対象にした研修会を8月4日、むくのきセンターで行う。増加傾向にある不登校の件、あわせて各学校からの実践交流を臨床心理士の岩井秀世様に来ていただき実施する予定。

4つ目は、相楽地方小中学校管理職研修会である。今回は校長を対象に法教育の問題、特に子供たちのルールに関する教育を法教育の観点から見るということで、京都大学の土井真一先生に来ていただく計画にしている。

教育委員の皆様には、1つ目と2つ目の研修に出席していただきたいと思っている。両研修とも終了後に交流会を計画しているので、後ほどご都合をお聞かせいただきたい。

(4) 議決事項

なし

(5) 諸報告

総括指導主事 1 京都府学力診断テストについて

小学校4年生、中学1年生を対象に4月に行われた結果の速報値を出させていただいた。山城教育局管内の点数については、まだオープンにされていないので空欄にさせていただいた。

まず、小学校4年生の国語について、京都府は平均値が63.4、精華町は64.1と1ポイントほど精華町が上回っている。26年度、25年度と比較すると縮まってきているので懸念している。

算数は、精華町の平均が69.7で、京都府が70.4となっている。京都府の平均を下回ったことは過去一度もなかったので非常に残念な結果になった。

過去にマイナスは一度もなかったが、平成24年度に府の平均と同じ点数だったことがあった。24年度に受けた子供は現在、中1になっており、その結果を見ると、府の平均を6.3ポイント上回っている。4年生、5年生、6年生の3年間の小学校の学習で回復したことが見て取れる。今回の小学校4年生も今後課題を整理・分析しながら授業改善に取り組むことで回復していけるように思う。

それぞれの学校ごとの結果も出させていただいた。小学校4年生について、国語は1校をのぞき、どの学校も京都府の平均を上回っている。算数は4校ほど落ち込んでいることから、それぞれの領域や観点の細かな分析をしていきたい。中学校1年生も一部の学校で落ち込みがあるので、これについても中学校の学力向上総合推進委員会で分析をしていただきたいと思っている。

総括指導主事 2 教職員夏季研修会について

教育長から報告があったように8月4日の教職員研修会は、不登校をテーマに、むくのきセンターで実施する。岩井秀世臨床心理士はスクールカウンセラーのスーパーバイザーという立場にあり非常に多くの経験や実績をお持ちである。様々なお話を聞かせていただき、各ブロックごとに不登校をテーマに交流をしていくことで半日計画をしている。

総括指導主事 3 夏季休業中の業務休止日について

精華町では8月11日（火）から13日（木）までの3日間を学校の業務休止日とする。保護者宛て文書、ホームページで周知し、広報「華創」にも掲載していこうと考えている。

総括指導主事 4 生徒指導報告について

5月分の報告である。小学校はほとんどゼロだが、金銭の持ち出しが1件あった。1年生の子が家から1万円を持って行ってシールやお菓子を買ったということだった。

小学校の不登校については、10名となっている。この点は精華町の大きな課題であり、ほとんどの学校で2名ないし3名の子が、月3日以上欠席している。

中学校の生徒指導関係については、対教師暴力が1件。学校に電子機器を持って行き、取り上げられた際に怒って先生を蹴ったということがあった。けがは無かったが、生徒指導、保護者への連絡を行っている。それから、別の件で足を蹴り上げたら靴が飛んでいき蛍光灯を割ったという器物破損が1件。同級生に対し暴言を吐いたのが3件であった。

続いて中学校の不登校だが、5月で19名となっている。多い学校では8名、少ない学校でも4名なので非常に気になる値である。不登校については、家庭訪問や継続的な家庭連絡など学校の対応について学校でまとめるよう指示している。

総括指導主事 5 相楽・山城陸上大会の結果について

相楽大会が6月5日に行われた。非常に多くの生徒が上位の成績を残してくれた。ほとんどの種目で上位入賞を果たし、5位以内の選手が山城大会に進んだ。総合の結果は、精華西中学校が男子で優勝、女子で第2位となり、男女総合で同校が優勝というすばらしい結果だった。

山城大会でも精華西中学校が男子優勝、女子準優勝、総合で準優勝という結果を残してくれた。この大会の6位以内が7月27日の京都府大会に出場する。近畿大会、全国大会を目指して引き続き頑張ってもらいたい。

生涯学習課長 1 精華町子ども議会、子ども祭りについて

子ども議会を7月22日（水）午後1時半から開催予

定にしている。選挙権年齢を18歳に引き下げる改正法が国会成立したこともふまえ進め方を検討した結果、代表質問においては、精華町を住みよい町にするために代表者に質問事項を考えてもらい、議場でその質問をしていただく。そして町長ないし教育長が回答する流れで進める。

もう1つのまちづくり委員会については、各小学校へのアンケートを参考にしながら、子どもたちがどのようなことを思っているのか、どんなことを望んでいるのかを含めたテーマを、こちらのほうで2つ選択し、決定したテーマについて再度質問事項を考えていただき、議論してもらおうというスタイルで進めていく。

したがって、第1分会と第2分会というように委員会室を2つ設け、それぞれ2つのテーマについて自由な意見交換、活発な議論を子どもたちで進めていく形で進めたいと考えている。6月26日にアンケートを提出してもらう予定なので、来週にはアンケート結果を含めてテーマを決定し、各学校に配信することになっている。

子ども祭りについては、当初10月17日の実施予定だったが、翌日18日に町長選挙が決定した。前回申し上げたように、選挙の前日実施は難しいため、今後どうしていくかを今月26日の子ども祭り実行委員会で決定する。そこでの内容を、次回の教育委員会で報告するので、改めてお願いしたい。

学校教育課長 1 食育月間の街頭啓発について

6月19日金曜日に祝園駅前で午後6時から7時までの間、精華町食生活改善推進委員協議会「あすなろ会」の皆さんと役場内での組織である食育庁内連絡調整会議が実施主体となり、祝園駅前に帰って来られた方々に対し、「19日は食育の日」ということと、みんなそろってご飯を食べようという「共食」の意識啓発を行った。

ティッシュと、あすなろ会が作成した健康食レシピを1時間で約1000枚配布した。今後も食育の取り組みについては引き続き、あすなろ会の力をお借りして進めていきたいと考えている。

学校教育課長 2 精華中学校の校舎の改築の進捗について

校舎棟については完成のめどが立ってきた。7月16日に校舎棟の引き渡し検査を行い、その後、総務教育常任委員会で現場を見ていただく予定で調整をしている。校舎棟は完成後に引っ越しや備品の搬入を行い、8月1日から新しい校舎で学校の運営を始めるという予定で進めている。その後の工事としては、旧校舎の解体工事やプールの改築、体育館の改修などがある。

特に解体工事については、地元周辺の自治会である、植田、南稲、南、祝園西一丁目の4地域を対象に地元説明会を行う。7月8日水曜日の午後7時半から役場交流ホールで実施の予定。これについては関係自治会に回覧中である。特に懸念されているのが、解体に伴うほこりや騒音、家屋への振動の影響で、その辺については十分丁寧な説明を行いたいと考えている。

学校教育課長 3 ライトダウンの取り組みについて

地球温暖化防止、節電、職員の健康管理、時間外勤務、超過勤務の縮減などの観点から取り組みを進めている6月22日の夏至の日からスタートし、役場では毎週水曜日のノー残業デーに合わせたライトダウン、町独自で第2、第4金曜日の夕方6時からライトダウンを行い、極力早く消灯して帰る取り組みを行う予定である。

町内の事業所や学研の立地企業にも、6月22日の夏至の日と7月7日の七夕の日の2日間については、ご協力をいただくように働きかけをしている。各学校においても、この取り組みをできるだけ進めてほしいということで情報提供しているところです。

学校教育課長 4 奈良市と相楽地域の中学校生徒指導情報交流会について

7月3日の金曜日に奈良市保健所・教育総合センターで開催予定である。奈良市と相楽地域の中学校の生徒指導部会、生徒指導担当教員、各教育委員会で情報交流を行うため、精華町教育委員会からも参加を予定している。

【委員の意見等】

伊藤委員長 子ども議会の代表者選出は、学校において、やりますという積極的なものなのか、とりあえず選んで出てきているのかどちらの傾向が強いのか。

生涯学習課長 選出方法については学校に一任している。各クラス1名の代表者を選び、その中から各学校で代表質問者をさらに1名選んでもらうようにしている。選出方法については学校に確認しないと分からない。

伊藤委員長 子どもたちに精華町をよくするため子ども議会に出て自分の思いを伝えたいと名乗り出たくなるような働きかけを重ね、積み上げていくことで子どもたちの意識も変わってくる。

山田荘小学校で始められた「ことばの教育」活動が精華南中学校に伝わり、ある発表会でその学校の生徒が突出した発表を行うことができた。それが他校の先生方の刺激となり指導を共有し、今や原稿無しでも堂々と発表できるようなスタイルに変わってきている。継続的な指導や工夫の積み重ね、また教師の熱い思い思いが子ども達に伝わってこそ良い方向に変化していく。学校全体で校長先生も担任の先生も本気だということを見せれば、子どもたちも応えたいという気持ちを持つ。子ども議会でもそのような導き方で意欲を高める努力をしてほしい。

生涯学習課長 子ども議会のあり方や標語なども含めて、趣旨を理解して子どもたちに積極的に将来の精華町や社会をどうするか考えてもらえるような方法を考えていきたいと思っている。

伊藤委員長 子どもたちが精華町の未来はこうだという突拍子もない

夢を発表するかもしれないが、それは我々大人にも大きな刺激となる。今後行われる総合教育会議でもそういった子供たちのエネルギーを伝えながらより良い教育を進めていきたいという思いで発言した。

中 谷 委 員

その意見に賛成する。子ども議会に限らず、自分の言葉で話をするというのはとても大事なことだと思う。子ども議会の中で決議まではいかずとも、こんなことしたい、こんなこといいなというアイデアや子どもなりの考えが町の中で何か一つでも実現できたら一番いい。標語やスローガンなど具体的に見える形で示すことができれば、28年度の子ども議会のときに先生たちも言いやすい。そのようなことがあれば子どもたちも、僕も行ってみよう、私も行ってみようというように気持ちが高まっていくと思う。議会が終わったら全て終わりではなく、次の発展へどうつなげていくのか、見える形で示してもらってまた次へつなげるという方法をとってほしいと思う。

蓑 毛 委 員

私も委員長の見解に賛成する。去年も見させていただいたが、非常に形式的になってしまっている。せっかくの機会を教育として活用してほしいし、生の子どもの意見を聞きたいと思う。学校代表で町長に質問したよ、経験になってよかったねだけではなく、その経験が主権者教育などに生かしていけるような取り組みとしてほしい。

伊藤委員長

子どもたちの前向きな夢や発想には町長も一生懸命動かれると思うし、子どもたちの心が届けばいいなと思う。

もう一つ。現場にいたときのふりかえりになる。ふだんの授業は教師主導でやっているものが多いけれども、ある時、自分たちで工夫してやりなさいという形で選択講座を行ったことがあった。その時の子どもたちの熱心な様子をよく覚えている。

つまり、少しの発想の転換により、子どもたちは純粋に反応する。何かおもしろいこと、我々では考えられないようなものを生み出してくれる機会にしてもらいたい。

蓑毛委員 学力診断テストについて、全国的に見ると履修されてないところまで出題されたというのが報道されている。精華町はどうだったか。

総括指導主事 事前に範囲について知らされており問題はなかった。

(6) 後援関係

5月から6月に受け付けた教育委員会後援事業の報告は、総数14件、学校教育課関係は1件、生涯学習課関係が13件、うち社会教育係関係が12件、図書係は0件、体育係関係は1件。

(7) 7月の行事予定

(8) 閉会

委員長が第7回教育委員会の閉会を宣言。